



MIKUNI VM26 Racing Carburetor Kit 取扱説明書

商品番号 : 03 - 05 - 0235 (キャブレーターキット)
適応ヘッド : SUPER HEAD ONLY (01 - 05 - 0170)
適応車種 : ドリーム50
フレーム番号 : AC15 - 1000001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当キャブレーターキットは当社製スーパーヘッドボアアップキット専用品です。ノーマルエンジンには取り付け出来ません。

当キャブレーターキットは、レース専用部品となっております。このキット単体では、一般公道での走行は、出来ません。

当キャブレーターキットを取り付けた場合、ノーマルスロットルでも使用出来ますが、当社製ハイスロットルキットのご使用をお勧めします。

⚠ 注意

下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。
(ボルト、タップ部の破損および脱落の原因となります。)
- ・作業は、必ずエンジンおよびマフラーの冷間時(35 以下)に行って下さい。
(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品やフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護し、注意して行って下さい。
(ケガの原因となります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を確認し、緩み等が無いが確認して下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・エンジンの回転中は、キャブレーター吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。
(吹き返しによるガソリンや、バックファイヤーにより火災が 噴出することがあり、大変危険です。)

⚠ 警告

下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。
(部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行って下さい。
(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。
(一酸化炭素中毒に なる恐れがあります。)
- ・取り付け作業は、車両を安定させた状態で行って下さい。
(車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



| 番号 | 商品内容 | 数量 |
|----|----------------------|----|
| 1 | キャブレターASSY. | 1 |
| 2 | キャブレターインシュレーター | 1 |
| 3 | インシュレーターバンド | 1 |
| 4 | ソケットキャップスクリュー 6 x 20 | 2 |
| 5 | フュ-エルホース 200mm | 1 |
| 6 | パイロットジェット #20 | 1 |
| 7 | L型レンチ 5mm | 1 |

出荷時キャブレター状態

| | |
|-----------------|---------|
| メインジェット | #190 |
| パイロットジェット | #22.5 |
| ジェットニードル | 5E75 |
| クリップポジション | 3段目 |
| スロットルバルブカッターウエイ | #1.5 |
| エアースクリューオープニング | 1回転±1/4 |

[セッティングパーツ]

メインジェット

#100、#105、#110、#115、#120、#125、#130、#135、#140、#145、#150、#155、#160、#165、#170、#175、#180、#185、#190、#195、#200、#205、#210、#215、#220、#225、#230、#235、#240、#245、#250、#255、#260

パイロットジェット

#10、#12.5、#15、#17.5、#20、#22.5、#25、#27.5、#30

キャブレターは、天候・気温・自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。

当キャブレターキットには、エアフィルター等は付属しておりません（STDエアークリーナーの取り付けも出来ません）ので、エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので、雨天中の走行はなさらさないで下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。

当キャブレターキットの使用には、ハイスロットルSET（09-02-0230、09-02-0232、09-02-021、09-02-0221）の使用をお勧めします。

当社製エアファンネルキット、03 01 040、03 01 041及びラウンドストレートType1エアフィルター03 01 102の取り付けが出来ます。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

セット内容を、確認します。

水平な場所で、車両を安定させます。

フュ-エルコックを閉めてキャブレターのドレンコックを開き、フロートチャンバーからのガソリンを受け皿に抜き取り、フュ-エルチューブを外します。

L.サイドカバーを取り外し、エクステンションのスクリューを外し、エクステンションを取り外します。

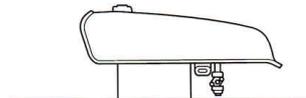
フュ-エルチューブ エクステンション



フランジボルト2本を外し、シートを取り外します。

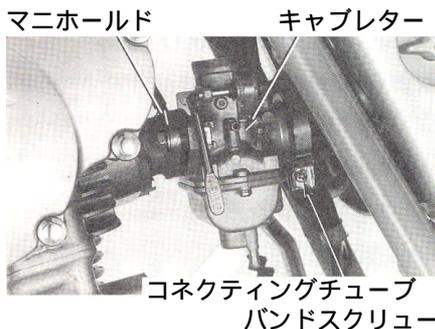
フュ-エルタンクマウントボルト及びストラップを外し、フュ-エルタンクを取り外します。

フュ-エルタンク取り外し後、フュ-エルコックの損傷、タンクの倒れ、ガソリンの漏れを防止する為タンクを適当なブロック等の上に置くこと。



キャブレターのトップカバーを外し、スロットルバルブとスロットルケーブルを分離し、トップカバーも取り外します。

コネクティングチューブバンドを緩め、キャブレターをマニホールどごと取り外します。



エアークリーナーケースに付いているコネクティングチューブを取り外します。



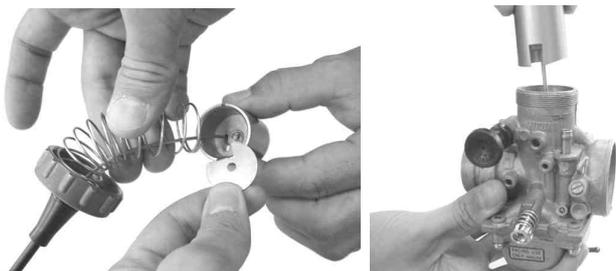
スロットルがノーマルの場合、ハイスロットルキットに交換することを、お勧めします。

ボアアップされたシリンダーヘッドに、キャブレターインシュレーターをソケットキャップスクリューを用いて取り付け締め付けます。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

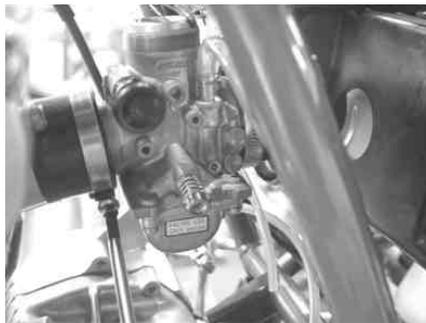


キャブレターインシュレーターに、インシュレーターバンドを取り付けます。

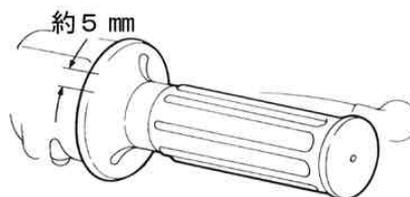
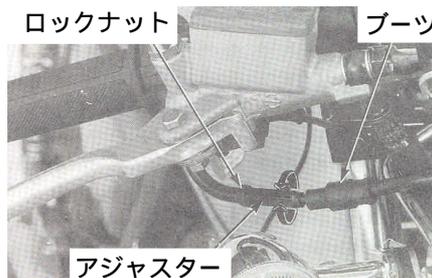
キットのキャブレターのトップカバーを外して、スプリング、スロットルバルブを抜き取ります。スロットルケーブルのインナーケーブルをキャブレターのトップカバーから通し、さらにスプリングを通して、スプリングを締めながらスロットルバルブに取付けます。スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。



キャブレターをインシュレーターに差し込み、クランプバンドで締め付けます。



スロットルグリップ部で5 mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。



スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右いっぱいに切った状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。

取り外しと逆手順で、フューエルタンク、シート、サイドカバー、エクステンションを取り付けます。

フューエルチューブを差し込み、チューブクリップで止めます。フューエルコックを開き各部からのガソリン漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)

チョークレバーを引きエンジンを始動させます。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

⚠警告：必ず換気のよい場所で行う事

安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>